

SELF-HOSTING

セルフ・ホスティング・ファミリ ミリー・スポンサーシップ

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/families-for-enterprise-self-hosted/>

セルフ・ホスティング・ファミリー・スポンサーシップ

企業組織のメンバーには、新規または既存のファミリー組織に適用され、ウェブポータルから直接利用できる無料のファミリー組織スポンサーシップが提供されます。

Note

非スポンサーのセルフホストFamilies組織のライセンス更新に関する情報をお探しの場合は、[こちら](#)をご覧ください。

クラウドファミリーのスポンサーシップを発行するには、自動課金同期を有効にする必要があります。自動同期を設定するには

ステップ1: クラウド通信を有効にする

まず、当社のクラウドシステムとの通信を許可するようにサーバーを設定する必要があります。

Note

このステップは、セルフホスト・インスタンスの設定ファイルにアクセスできる人が完了させる必要があります。

クラウド通信を有効にするには、`bwdata/env/global.override.env`の以下の行を`true`に設定する：

Bash

```
globalSettings__enableCloudCommunication=true
```

クラウド組織がEUサーバーで作成された場合は、以下の値も設定する必要がある：

Bash

```
globalSettings__baseServiceUri__cloudRegion=EU
globalSettings__installation__identityUri=https://identity.bitwarden.eu
globalSettings__installation__apiUri=https://api.bitwarden.eu
globalSettings__pushRelayBaseUri=https://push.bitwarden.eu
```

Note

`globalSettings__baseServiceUri__cloudRegion`の値は、インストールID&キーを取得する際に選択したデータ領域と一致する必要があります。

これらの値を設定したら、`./bitwarden.sh restart` コマンドを実行して変更を適用します。

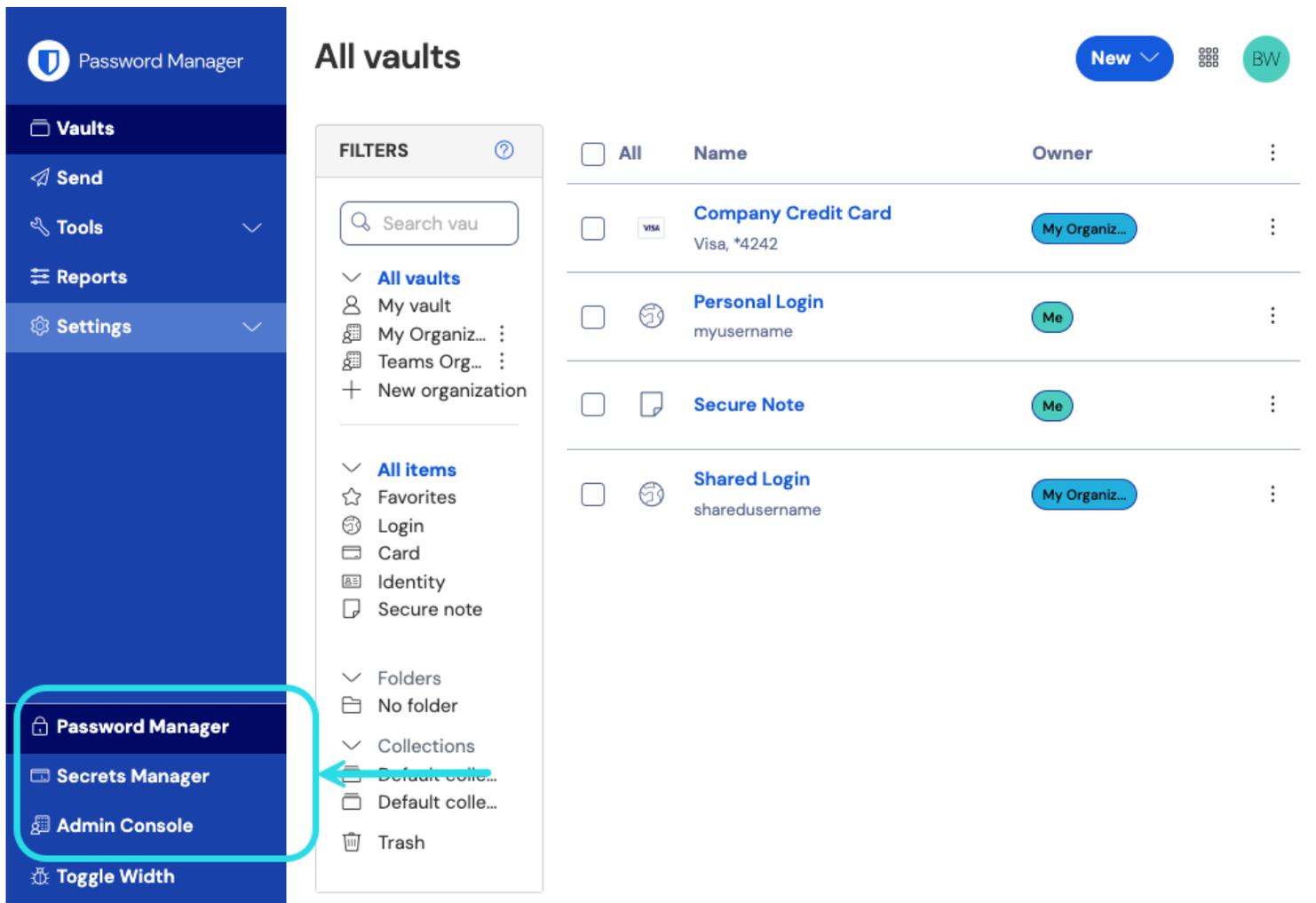
Note

自動同期を有効にするには、ビットワードンのクラウドシステムとの通信が必要です。ファイアウォールで送信トラフィックをブロックしている環境では、<https://api.bitwarden.com>または`.eu`および<https://identity.bitwarden.com>または`.eu`を許可する必要があります。

ステップ 2: 課金同期トークンの取得

サーバーレベルでクラウド通信が有効になると、課金に使用するクラウド組織からセルフホスト組織にシンクトークンを渡す必要がある。クラウドウェブウォルトから同期トークンを取得するには、組織の所有者である必要があります。トークンを取得する：

1. クラウドウェブアプリを開き、プロダクトスイッチャー (☰) を使用して管理コンソールを開きます：



製品-スイッチャー

2. Billing→Subscriptionに移動します。
3. セルフホスティングのセクションまでスクロールダウンし、課金同期の設定 ボタンを選択します。
4. マスターパスワードを入力し、トークンの生成を選択します。
5. 生成されたトークンをコピーする。

ステップ 3: 課金同期トークンの適用

自組織に課金同期トークンを適用する：

⚠ Warning

この段階で、セルフホスト配備を以前のバージョンからアップグレードする場合、先に進む前にライセンスファイルを手動で更新する必要があるかもしれません。

1. セルフホスト管理コンソールを開き、**課金**→**サブスクリプション**に移動します。
2. ライセンスと課金管理セクションで、**自動同期**オプションを選択します。
3. **課金同期の管理**ボタンを選択します。
4. 生成された**課金同期トークン**を貼り付け、**[保存]**を選択します。

📌 Note

Families for Enterpriseの同期は、最初の同期をトリガーすると、毎日1回行われます。このセクションの "**Last sync** "フィールドは、最初の同期をトリガーするまで "**Never** "と表示されます。

ライセンスアップデートの同期は、**Sync license**ボタンを選択して常に手動で行う必要があります（詳細は次のセクションを参照）。

ステップ4：トリガー同期

セットアップが完了したら、同期をトリガーします。課金同期は**毎日1回**行われますが、手動でいつでも同期をトリガーすることができます。シンクのトリガー

1. セルフホスト管理コンソールを開き、**課金**→**サブスクリプション**に移動します。
2. **ライセンス同期** ボタンを選択します。

📌 Note

サポートされていないバージョンのエラーメッセージが表示された場合は、サーバーを更新してライセンスファイルのアップロードをやり直してください。サーバーを更新するには、**bwdata** ディレクトリのバックアップを作成し、**以下の手順に従ってください**。

シンクの間、スポンサーシップの交換や変更を行うと、「**シンク待ち**」のステータスが表示されることがあります。これは、スポンサーシップを完全に交換または変更する前に、セルフホスティングのBitwardenサーバーがBitwardenクラウドと同期するのを待っていることを示します。